

シリーズ
原発・いのち・みらい
その19

原発から脱しよう!

「原発の危険から子どもを守る北陸医師の会」会員

大浜 和憲

あの悲惨な三・一一から二年が過ぎました。二年前のこの日、未曾有の大地震・大津波そして原発事故が東日本を直撃し、この大震災で一万五千八百八十一人の尊い命が奪われ、今なお二千六百六十八人も人たちの行方が分かっていません。心から哀悼の意を表します。そして、被災され、つらい生活を強いられている多くの人たちに、「がんばろう!」のエールを送ります。しかし、復興は遅々として進まず、福島第一原発周辺の街は、まさに「死の街」と化しています。

地震と津波だけなら、私たち日本人は、もっとすばやく立ち直ることができたでしょう。今、日本を覆っているこの重苦しい空気は、一体どこからくるのでしょうか。その元凶は、原発事故です。唯一の被爆国に住んでいる私たち日本人にとって、原子力の「平和利用」は、心地よく耳に入ってきたものではありません。二酸化炭素を排出することのないクリーンエネルギー、発電コストも安い、という宣伝文句は、節電を忘れさせるものでした。暑いときには冷房の、寒い時には暖房のスイッチを無造作に入れていまし

た。街は不夜城と化し、二十四時間営業のコンビニは増え続け、いたるところに自動販売機があります。まさに電力の垂れ流しです。福島第一原発は、事故から二年以上たった今も、放射性物質を撒き散らしています。海に流れ、希釈されるかもしれませんが、魚はきつと汚染されていることでしょう。地下水も汚染されているでしょう。にもかかわらず、一部の学者たちは「少しくらいなら大丈夫、大丈夫」と言い続けています。低線量被曝については「大丈夫」ではなく、正直なところ分かっていないのです。低線量といえども有害である、という論文も多々あります。石川県には、志賀原発があります。現在は稼働停止中ですが、ストレステストを終えて、再稼働へ向けて環境を整えつつあります。そのために放射能モニターを五億円もかけて設置するそうです。こんなものも含めると、発電コストは決して安くありません。民主党政権は「三十年代の原発稼働ゼロ」をめざしましたが、昨年末、自民党政権に代わって、原発維持に向けて

大きく舵を切りました。安倍総理にお尋ねします。原発を維持しながら、私たちの子孫に「美しい日

本」を残せるのでしょうか? そして、谷本石川県知事にもお尋ねします。志賀原発を稼働させながら、「能登のやさしい里山」を残せるのでしょうか? 「原発 もの言わぬは後押しと同じ」これは全日本仏教会の河野太通会長の言葉です。まごまごしている、全国の原発は次々に稼働してしまいます。皆さん、反対の声を上げましょう!

パネル集「戦争と医の倫理」

—日本の医学者・医師の「15年戦争」への加担と責任—

旧陸軍、731部隊に属した日本の医学者・医師が犯した人体実験などの非人道的行為。

国際シンポジウム「戦争と医の倫理—ドイツと日本の検証史の比較—(2012年11月開催)」では、

その検証が史実に沿って行われ、特にパネル展示は大きな反響を呼びました。

それを受けて、パネル集を発刊し、広く頒布することになりました。

○ 1冊 2,000円 (A4判・123ページ)

■注文は、「戦争と医の倫理の検証」を進める会(保団連内)まで
TEL 03-3375-5121 FAX 03-3375-1885

第26回核戦争を防止する石川医師の会総会記念企画

第4回 Nuclear Abolition Day

(核兵器廃絶国際行動デー)

「はだしのゲンが見たヒロシマ」

アーサー・ビナード講演会

と 「炉は続くよどこまでも?」

～広島文化賞を受賞したアメリカ人が核の本質と日本のこれからの あざやかに語る～

とき— 2013年6月9日(日) 13時30分から16時30分

ところ— 金沢市文化ホール2階 大集会室
(金沢市高岡町15-1/金沢ニューグランドホテル向い)

参加費— 大人(大学生以上) 1,000円、子ども無料

主催— 核戦争を防止する石川医師の会

共催— はだしのゲンをひろめる会

後援— 石川県保険医協会、石川県原爆被災者友の会、石川県生活協同組合連合会、石川県民主医療機関連合会、九条の会石川医療者の会、生活協同組合コープいしかわ、非核の政府を求める石川の会

〈問合せ先〉核戦争を防止する石川医師の会

〒920-0902 石川県金沢市尾張町2-8-23 太陽生命金沢ビル8階(石川県保険医協会内)
TEL 076-222-5373 FAX 076-231-5156

※Nuclear Abolition Day(核兵器廃絶国際行動デー)は、核兵器廃絶国際キャンペーン=ICANが2010年(NPT再検討会議開催直後)から始めたもので、全世界的に核兵器廃絶に向けたアクションを起こす日です。石川反核医師の会では、総会記念企画をNuclear Abolition Dayに位置づけて毎年開催しています。

ドキュメンタリー
映画

「はだしのゲンが見たヒロシマ」

漫画家・中沢啓治氏が自身の生い立ち、広島での被爆体験から『はだしのゲン』を描くまでの半生を語る——『はだしのゲン』作者・中沢啓治氏が広島市内の思い出の土地を辿りながら証言、貴重な原画とともに決して忘れてはならない戦争と原爆の姿を見つめるドキュメンタリー映画。

- 出演: 中沢 啓治(『はだしのゲン』作者)
- 監督: 石田 優子
- シグロ、トモコーポレーション製作、2011年、77分

プロフィール

アーサー・ビナード氏

詩人。1967年米国ミシガン州生まれ。ニューヨーク州のコーネル大学で英米文学を学び、卒業と同時に来日、日本語での詩作を始める。『釣り上げては』

(思潮社)で中原中也賞、『日本語ぽこりぽこり』(小学館)で講談社エッセイ賞、『ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸』(集英社)で日本絵本賞、『左右の安全』(集英社)で山本健吉文学賞を受賞。



錆びて赤茶けた常磐線の線路に立つアーサー・ビナード氏(福島県南相馬市にて、2011年)